

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	評価日	平成 28 年 2 月 8 日	評価番号	A-465								
評価技術名称					連絡先											
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.											
真壁「押入」アルミ材下地					〒		電話		Fax							
概要	技術概要															
	床、天井間のみをアルミアングルと構造用合板で補強する工法。															
	技術の特徴						コスト									
	<ul style="list-style-type: none"> 土壁・天井・床・中段・枕棚/天袋を解体することなく真壁や入隅に施工が可能。 真壁の仕上がりで補強が可能。 壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能。 						サンプル構面 35,181 円/kN 設計見積り例 —									
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関											
機関名					名古屋工業大学											
評価番号					その他											
評価取得日																
仕様	適用範囲				写真・図											
	構法		木造在来軸組工法													
	規模		3 階建て以下													
	基礎、地盤		特になし													
	適用部位		内部壁													
	その他		特になし													
	主要構成部材の仕様					構造用合板 厚 12mm 以上 タッピングビス φ 3×L30、木ビス(コーススレッド) φ 3.8×L32、セルフドリルネジ φ 4×L30 のいずれか @ 100mm 以下、川の字打ち アルミ不等辺アングル 9×40 t=1.5 またはこれ以上のサイズのもの JIS H4100 の A6063-T5 材(アルミ建築構造設計基準で AS110 材)またはこれと同等の強度を有するもの 木ビス(コーススレッド) φ 3.8×L32、先孔 φ 3 アングル角部を斜め打ち										
	耐震性能					評価仕様: アルミアングル下地真壁仕様 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>壁基準耐力</td> <td>壁基準剛性</td> </tr> <tr> <td>押入</td> <td>2.08kN/m</td> <td>292kN/rad./m</td> </tr> </table> 押入 : A-111 からの低減係数 α = 0.4 壁基準耐力 5.2 × 0.4 = 2.08						壁基準耐力	壁基準剛性	押入	2.08kN/m	292kN/rad./m
		壁基準耐力	壁基準剛性													
	押入	2.08kN/m	292kN/rad./m													
設計方法					①柱接合部による低減 取付部分が健全であること ②劣化による低減 取付部分が健全であること											
施工者指定					特になし 構造用合板が浮く場合は、アルミアングルに先孔を用いる											
その他					旧 A-006 H28 年度 ビスの種類追加											